

北海道産業人材育成連携会議

「次世代人材育成ワーキンググループ」の検討状況について

現状と課題

○技術、技能を受け継ぐ次世代の人材については、近年、若者の製造業離れや理工系離れが顕著になっていることから、小・中学校といった早い時期からものづくりに関心を持つ機会を提供するとともに、高校生や大学生等のものづくりに対する意識啓発や職業意識の醸成などを図っていくことが重要(北海道産業人材育成プランP24)

検討テーマ

- ①高校生、大学生、若者等の製造業への理解促進、職業意識の醸成
○保護者向けセミナーの開催など
- ②次世代ものづくり人材育成応援企業の認証・表彰制度創設
○制度創設に向け、引き続き検討



H21における
検討結果を受けて

WG検討結果→さまざまなツールを活用して取組を推進

- ネットワークの関係機関との連携
○厚生労働省の緊急雇用創出推進事業交付金事業
○道の政策検討・予算事業

H22取組内容

- 高校生、大学生、若者等の製造業への理解促進、職業意識の醸成
- ①ものづくり産業理解促進事業の実施《緊急雇用創出推進事業（道：国委託事業）》**
- ②工業高校と技専等の連携強化（スキルアップ講座の実施等）《赤いカ・チャレンジ事業（道）》
- ③普通高校生のものづくりへの誘導（出前講座の実施等）《各高等技術専門学院（道）》
- 次世代ものづくり人材育成応援企業の認証・表彰制度創設
- ①ものづくり人材育成応援団「どさんこサポーターズ」登録制度の立ち上げ（新規）《非予算事業》**
- 小中学生のものづくり体験機会の効果的な提供
- ①技能士や関係機関指導員等によるものづくり体験会の実施《赤いカ・チャレンジ事業（道）》
- ②関係機関共同によるものづくり体験情報（マップ）の提供《非予算事業》
- ③ものづくり人材（シニアアドバイザー）データベースの充実、マッチング《非予算事業》

H22検討の方向性

- 【継続検討項目】○ものづくり人材育成応援団「どさんこサポーターズ」登録制度の効果的な運営方法
- ・立ち上げ後の取組（サポーターズ間の横の連携の維持、対外的周知方法など）
 - 高校生、大学生、若者等の製造業への理解促進、職業意識の醸成
 - ・職業意識の醸成、保護者向けの取組など
 - 道内理工系大学卒業生等の道内就職促進
 - ・道内企業への人材の誘導と定着に向けた取組
（学生の長期インターンシップなどによる大学等と地元企業の人的交流）など
- 【その他新規検討項目の洗出し】

H22検討の経過

- ・サポーターズの登録企業を増やすため、各構成機関で持っているツール（HP、メルマガ等）を活用して周知することは可能。
- ・サポーターズの登録効果を上げていくためには、まず、登録企業の象徴的な取り組みを紹介していくことが必要。
- ・利用者側である学校には、まずこうした取り組みが始まったとの周知が必要。学校としても活用できるツールであり、企業との間にコーディネート機関が入ると、なお使いやすい仕組みとなる。
- ・工場見学等の情報は自社HPにおいて掲載している企業が多いことから、趣旨に賛同する企業は結構あると思われる。
- ・事業仕分けで保護者や教員に対する就職セミナーが廃止されたが、自治体や学校からは実施してほしいとの要請がある。
- ・理工系学部の特徴として、指導教官と学生のつながりが強く、教官の意向により道外の息のかかった大手企業に就職させる傾向が強い。
- ・道内企業においても高度な技術者の受入環境を整えていくことが必要。

WGメンバー

北海道経済産業局、北海道労働局、雇用・能力開発機構、北海道職業能力開発協会、北海道機械工業会、北海道中小企業総合支援センター、キャリアバンク、北海道教育厅、北海道（人材育成課・産業振興課・雇用労政課）

開催実績

H20年度		
第1回WG	H20.	9. 25
第2回WG	H20.	11. 19
第3回WG	H21.	2. 9
H21年度		
第1回WG	H21.	9. 18
第2回WG	H21.	12. 9
第3回WG	H22.	2. 4
H22年度		
第1回WG	H22.	7. 16